

庄原民報

2008年9月

日本共産党庄原市委員会

庄原市西本町一丁目4-10

TEL・FAX 72-3366

日本共産党庄原市委員会の政策を紹介します。ご意見をお寄せください。

市政アンケートに寄せられた声にこたえ **財政難のもとでも**



市民のくらし、福祉、教育を優先させます

党の10大政策

- 若者の働く場の確保
- 市内での出産医療の再開
- 第2子、第3子の保育料の軽減
- 小学6年までの医療費の無料化
- 耐震診断に基づく庄原中学校の建替
- 高齢者医療の充実
- 老人ホームの増設
- 資源ゴミ、紙おむつの無料収集
- 住宅、店舗のリフォーム助成制度の創設
- 米の価格保障の復活

財源は、不要、不急の大型建設事業や経費の節減で生みだします

市政アンケートに寄せられた声を紹介します

しがらみのない、何でも言える共産党だけが頼りです。ガンバッテください。本町 男
このアンケートは、現在の世の中で一番問題となっていることばかりであり、前向きの姿勢で頑張っていたら、実現に向かうようお願いいたします。微力ながら応援します。80歳 男

裏面に、市政アンケートの結果を掲載しています

日本共産党は、藤木くにあき氏を 来春の市議選の予定候補者として決定しました。



ふじき くにあき (57歳)

TEL 74-1190 携帯 090-5704-0645

現在/市議会議員 3期目(教育民生常任委員)
家族/妻(看護師)、2女1男、両親
自宅/庄原市水越町598



あなたも しんぶん赤旗を
ぜひ お読みください
日曜版は 月 800円です

藤木くにあき議員のホームページは、藤木くにあき で検索できます。ぜひ、ご覧ください。

日本共産党の議員は、議案に賛成するか、しないかは、「市民の利益になるか、ならないか」で判断しています。
「何でも反対する」「重箱の隅をつつくような質問をする」というのは、根拠のない中傷です。
財政難のときだからこそ、市民の目線で市政を見つめ、市民のみなさんの声を、まっすぐ市政に届ける、日本共産党の議席が、どうしても必要です。
今度の市議選は、定数25(8減)の大激戦です。市民の願いを実現するため、ひきつづき、あたたかいご支援をお願いいたします。

市民の目線で活動する

日本共産党の議員を引き続き市議会に

日本共産党

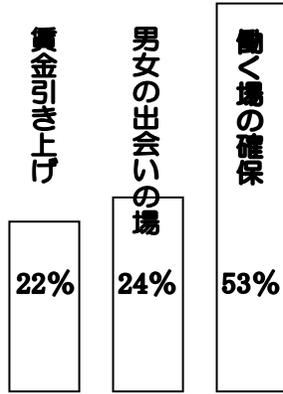
市政アンケートの結果

市政アンケートにご協力いただきありがとうございました。
ひきつづきあたたかいご支援を お願いいたします。

日本共産党 庄原市議会議員 藤木くにあき

若者対策について

(複数選択の設問)



ご意見 「Uターンの重要な条件なり」「契約社員が多く賃金が少ない」

小規模業者の支援について

(複数選択の設問)

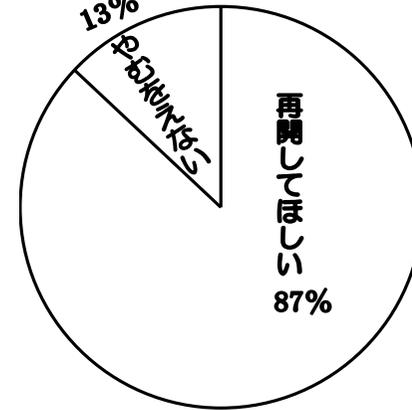
- 38% 住宅や店舗のリフォームに助成制度を設けてほしい
- 34% 無利子、無担保の融資制度をつくってほしい
- 28% 登録した小規模業者に公共施設の修繕をさせてほしい

教育について

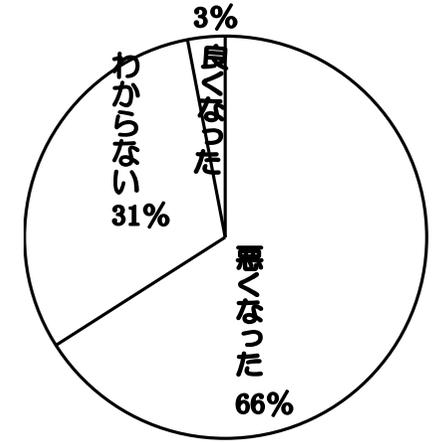
(複数選択の設問)

- 43% 先生にゆとりをあたえ、子どもも十分ふれあってほしい
- 37% 庄原中学校を早く建替えしてほしい
- 23% 庄原小学校の耐震対策を早くおこなってほしい

出産医療の再開について



ご意見 「お産に不安があれば、人口増も企業誘致も難しい」



ご意見 「もともと無理なこと 地方自治の本旨にもとる」

合併で市政は良くなったのか

農政の転換について

(複数選択の設問)

50% 農業は命のみならずであり、もっと重視してほしい

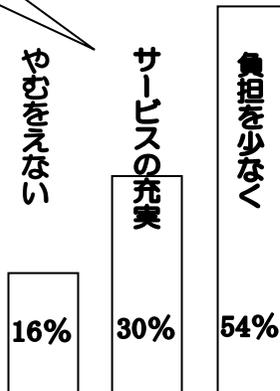
47% 地元で生産されたものを地元で消費するようにしてほしい

4% やむをえない

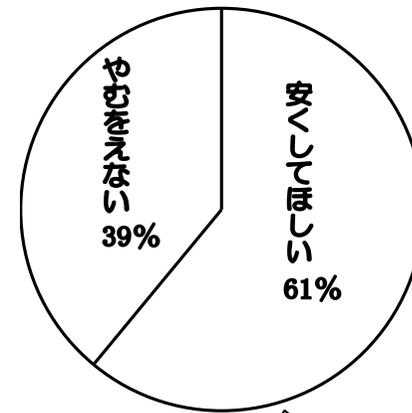
ご意見 「日本の農政は間違っている。減反して輸入は理解できない」「基本は自給自足だ」

高齢者福祉について

(複数選択の設問)

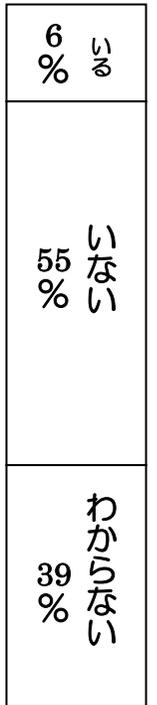


第2子、第3子の保育料について



ご意見 「若い人たちの低収入に対し負担が大きい」

ご意見 「市民の意見を充分聞くようにすること」



市議会は役割を果たしているか